

普及活動情勢報告（令和４年６月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

南国市営農改善会総会の開催～南国市の生産振興に向けて～



総会風景

６月２日、ＪＡ高知県南国営農経済センターにおいて、ＪＡ、農業改良普及課、南国市役所等で組織する南国市営農改善会総会が開催され、ＪＡ、農協組合、南国市、県関係の計４３名が参加しました。

当会は南国市の農業生産振興に取り組んでおり、昨年度に生産者と共に取り組んだ実証試験結果や今年度取り組む課題の内容、国営緊急農地再編整備事業後の営農推進を見据えた取り組み体制の強化などを協議しました。

前年度に引き続き、栽培技術、新品種、スマート農業の課題があり、生産者やＪＡ、関係機関の連携した取り組みが求められます。

農業改良普及課は、今後も生産者と関係機関の連携を図りながら、産地振興に向けた取り組みを支援します。

スマート農業を体感しよう！ ～防除用ドローン実演会～



ドローンを操作する普及指導員（左から２人目）と様子を見守る参加者

６月３日、ＪＡ高知県香美地区果樹部露地みかん部会員を対象に防除用ドローン実演会を開催し、部会員３人が参加しました。

農業改良普及課は、部会員の露地みかん園地で防除用ドローンによる散布を実演し、散布の状況や薬剤の葉への付着状況を確認してもらいました。部会員からは、「勉強になった」「カンキツでの登録農薬数が少ない」「バッテリーの持ちがもっと長ければよいが」「値段が高い」「薬剤散布をして効果を確認したい」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、スマート農業による省力化や負担軽減に関係機関と協力して取り組んでいきます。

農業の魅力を発信 ～第１回オンライン農業ツアー～



樹の状態を説明する生産者を中継する普及指導員（右）

６月４日、農業担い手育成センター主催による、県下３カ所の農業現場をリレー中継するオンライン農業ツアーが開催されました。香美市からは「物部ゆず」の生産者がゲスト出演し、農業改良普及課は、事前の打ち合わせ等の準備や現場からの中継を支援しました。

当日は、ユズ生産者が自身の園地の様子やユズの樹を見せながら、ユズの特徴や産地の新規就農者の受入体制などを紹介しました。

視聴者からは「農閑期はいつなのか」「草刈りをしないとどんな影響が出るのか」などの質問があがりました。

今後、新たなＰＲ手段として、オンラインを取り入れることを部会や関係機関と検討しながら、新規就農者確保への取り組みを支援していきます。

カンショの半自動移植機で省力化は図れるか！？ ～機械定植実演会～



苗の並べ方や機械操作、定植後の苗の状態を確認する参加者

6月4日、南国市土地利用型園芸農業研究会がカンショの半自動移植機の実演会を開催し、生産者及び関係者30名が参加しました。

農業改良普及課は、関係機関と打合せを行い、資料の作成等を支援しました。

関係機関から国営ほ場の整備計画や、カンショやカボチャ等の有望品目の実証栽培について報告したあと、メーカーによる機械定植の実演を行いました。

参加者からは「導入事例は多いか」「機械用のまっすぐな苗を選ばんといかん」「補植係は要るね」などの意見があり、機械の性能や作業性、課題を確認しました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携し、南国市国営ほ場での営農推進に向け、有望品目の検討や機械化の取り組みを支援します。

お米たくさん採れるかな～小学校で出前授業を開催～



クイズに答える児童の様子

5月25日、香美市立片地小学校の4年生と5年生計12名を対象に水稻の出前授業を行いました。

農業改良普及課は、お米についての基礎知識をはじめとして、児童がこれから取り組む田植え、草取り、稲刈りなどの米作りを中心にクイズを交えながら説明しました。

児童は終始熱心に聞き入り、「この虫知っちゅう！〇〇やろ！？」「香美市が一番お米作りゆうと思ひよった」など様々な反応があり、授業を楽しんでいる様子でした。

出前授業を通じて、児童らの米作りへの興味関心を引き出し、これから行う作業に向けての意欲を高めることができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して食育活動を支援していきます。

南国市での独立自営就農に向けて～指導農業士とのマッチング～



指導農業士のほ場で
ピーマンを収穫する研修生

農業担い手育成センターの研修生が、就農希望先である南国市ピーマンの指導農業士のもとでの研修に向けた“マッチング研修”を行っています。農業改良普及課は指導農業士との顔合わせや研修期間の調整を行い、研修開始後は6月9日と16日に研修状況を確認しました。

研修生は研修を通して「仕立て方による着果数の違いを感じた」など、生産現場と研修機関のほ場の違いを実感しており、また、指導農業士は研修生受入れに前向きな姿勢が見られました。

農業改良普及課は、研修生の円滑な就農に向けて、引き続き関係機関と協力して支援していきます。